

報道関係各位

シミックホールディングス株式会社

シミックHD、羊蹄山麓7町村とコロナワクチン接種に関する包括連携協定締結

独自のデジタル情報管理システムを活用し、ワクチン接種後の長期フォローアップ実現へ

シミックホールディングス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役 CEO 中村 和男、以下、シミックホールディングス）は本日付で、新型コロナウイルスワクチンの円滑接種を目的とした包括連携協定を、北海道 後志^{しりべし}総合振興局管内羊蹄山麓7町村（喜茂別町（きもべつちよう）、京極町（きょうごくちよう）、倶知安町（くっちゃんちよう）、ニセコ町、真狩村（まっかりむら）、蘭越町（らんこしちよう）、留寿都村（るすつむら））と締結しました。

現在、本年2月中旬から開始予定のワクチン接種に向けて、日本政府より全ての市町村へ体制の準備・構築が求められています。各自治体においては、業務に携わる人材確保や地域住民への個別通知（予診票・接種券）、接種手続等に関する相談対応や接種後の健康データ管理などの課題解決へ向けた早急な対応が必要とされています。

シミックホールディングスは、これまで生薬原料となる薬用植物栽培における共同研究契約を蘭越町および京都大学と締結し（2020年3月）、薬用植物栽培を通じた地域活性化を目指し取り組んでまいりました。今回締結した本連携協定により、シミックグループは、これまで培った医薬品開発における治験支援や治験施設支援等の経験をもとに、ワクチン管理や7町村への調整等のワクチン接種フロー構築を総合的にサポートするほか、円滑なワクチン接種に向けた業務フローの構築、接種会場におけるサポート、副反応に対する対応などを各町村の要望に応じて支援してまいります。

■本連携協定におけるシミックグループの主な役割

- ・羊蹄山麓7町村におけるワクチン接種に関する業務への支援
（専門的相談対応サポート、ワクチン接種に関する各町村への情報提供、など）
- ・ワクチン接種会場の円滑な運営に関するサポート
- ・デジタル情報管理システム導入を含めた長期的な副反応フォローアップを必要とする町村への支援

なお、本業務遂行にあたっては、グループが保有する独自のデジタル情報管理システムを活用した予防接種管理の仕組みを用いて、ワクチン接種時および接種後の長期フォローアップをサポートすることもできます。このシステム導入により、ワクチンを接種した個々人が接種したワクチンの種類（製造ロット含む）・接種日時等がクラウド上でデータ管理可能となります。

